

## MR I 検査を受ける患者さんへ

経過	検査前日	検査当日	検査終了
検査 	普通に過ごしてください	★検査予約時間の30分前までに来院して下さい。 ★1階正面総合受付に『診察券』と『予約票』を提出し、『基本カード』を持って放射線課受付にお越しください。 ★体内に金属(手術の金具など)が入っている患者さんはあらかじめ申し出て下さい。 ★骨盤部撮影の患者さんは検査直前に排尿しないで下さい。 ★検査時間は約20分です。検査内容によっては時間が前後することがあります。	★お疲れ様でした。  ★検査の結果は当日あるいは診察予約日に外来を受診して説明を受けて下さい。
食事 		★普通に食事が出来ます。	
お薬 		★内服して下さい。	
注意事項 		★造影剤の注射をした患者さんは、検査中、気分が悪くなったり、頭痛、かゆみ、じんましん、息苦しさなどの症状が現れた時にはすぐに申し出て下さい。	★造影剤の副作用は使用した直後がほとんどですが、まれに数時間～数日たってから現れることもあります。大半は2～3日以内に消失しますが、症状が残るようであれば我慢せずに来院して下さい。
★以下のいずれかで、MRI に対応した機器が植え込まれている方は、検査当日に <u>機器に関する手帳</u> と <u>MRI 対応カード</u> を忘れずに持参して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・心臓ペースメーカー、ICD、CRT-D</li> <li>・バクロフェン髄注療法のシステム</li> <li>・神経刺激装置（この場合は患者用プログラムも持参して下さい。）</li> </ul> ★妊娠中、またはその可能性のある方は主治医にご相談下さい。			

お問い合わせ先 中通総合病院 放射線課 TEL：018-833-1122 内線：1460

受付時間：9時～16時30分

## MRI 検査を受ける患者さんへ

MRI 検査は強い磁石と電磁波を用いる検査です。金属を含む物を身に着けたまま検査をすると磁力によって装置に引き込まれたり、電磁波によって発熱し、火傷をする恐れがあります。安全に検査を行うために以下の点を必ずご確認ください。

□ 体内に以下のような金属がある方は必ず申し出て下さい。

- 心臓ペースメーカ・ICD・CRT-D / 神経刺激装置・バクロフェン髄注療法のシステム
  - ▶ MRI 非対応機器の場合は検査できません。
  - ▶ MRI 対応カードが発行されていれば検査が可能です。検査当日に、機器に関する手帳と MRI 対応カードを忘れずに持参して下さい。  
(神経刺激装置の場合は、患者用プログラムも持参して下さい。)
- 脳動脈瘤クリップ
  - ▶ 留置した年によっては検査を受けることができません。
- 人工内耳・磁気義眼
  - ▶ 原則として当院では検査を受けることができません。
- 歯列矯正器具
  - ▶ 事前に通院している歯科に MRI 対応であることを確認して下さい。確認が取れない場合、検査を行うことができません。
- その他の金属がある場合も安全のため申し出て下さい。
  - ▶ 脳外科用シャントなど手術で体内に金属を入れた方 など
  - ▶ ケガ等により体内に金属異物が入っている方 など

□ 検査直前に身に着けている以下のようなものを外していただきます。  
可能であれば身に着けずにお越し下さい。

- アクセサリー類、ヘアピン、メガネ、入れ歯など金属を含むもの
- 補聴器、時計、携帯電話などの機器類
- キャッシュカード、診察券、駐車券などの磁気カード類
- カラーコンタクト、化粧品類（特にアイメイク）
- カイロ、エレキバン、湿布・ニコチンパッチなどの貼り薬
- 吸湿発熱素材の衣服（ヒートテック等）
- 増毛パウダー、白髪隠しパウダー（ファンデーション）（装置が故障する危険があるため、当日は使用せずにお越しください）
- ネイルアート（マグネットネイル、ジェルネイル等）（変色、火傷の恐れがあります）

□ 以下に該当する方は検査前に申し出て下さい。

- 血糖測定装置 リブレ等を使用している方（替えのセンサーをご用意ください）
- 尿道カテーテルを使用していて先端にキャップ(DIB キャップ)が付いている方
- 刺青（タトゥー）、アートメイクのある方

ご不明な点がございましたら下記へお問い合わせ下さい。

中通総合病院 放射線課 TEL : 018-833-1122 内線 1460 受付時間 : 9 時～16 時 30 分

MR I 検査を受ける患者さんへ

経過	検査前日	検査当日	検査終了
検査 	普段通りにお過ごしください	★検査予約時間の30分前までに来院して下さい。 ★1階正面総合受付に『診察券』と『予約票』を提出し、『基本カード』を持って放射線課受付にお越しください。 ★体内に金属(手術の金具など)が入っている患者さんはあらかじめ申し出て下さい。 ★検査直前に造影剤を飲んで頂きます。 ★検査時間は約20分です。検査内容によっては時間が前後することがあります。	★お疲れ様でした。  ★検査の結果は当日あるいは診察予約日に外来を受診して説明を受けて下さい。
食事 		(朝・昼) 食事は食べないで下さい。 水分(水・お茶)は飲んでも構いません。	
お薬 		★主治医にご相談下さい。	
注意事項 		★検査中、気分が悪くなった場合にはすぐに申し出て下さい。	★造影剤の副作用として軟便・下痢症状が出る場合があります。症状が治まらないようであれば我慢せずに来院して下さい。
★以下のいずれかで、MRI に対応した機器が植え込まれている方は、検査当日に <u>機器に関する手帳</u> と <u>MRI 対応カード</u> を忘れずに持参して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・心臓ペースメーカー、ICD、CRT-D</li> <li>・バクロフェン髄注療法システム</li> <li>・神経刺激装置 (この場合は<u>患者用プログラム</u>も持参して下さい。)</li> </ul> ★妊娠中、またはその可能性のある方は主治医にご相談ください。			

お問い合わせ先 中通総合病院 TEL : 833-1122 検査を依頼した外来まで

受付時間 : 9時~16時30分

## 造影 MRI 検査を受けられる方へ

### 1. 造影 MRI 検査の目的

検査で使用するガドリニウム造影剤は、肘・前腕・手の甲などの静脈から注射します。病気の有無や性質、血管や臓器の様子を鮮明に描出し、より正確な診断を行うことができます。

### 2. 造影剤の副作用

ガドリニウム造影剤は安全な薬剤ですが、稀に副作用が起こる可能性があります。また、今までの造影検査で副作用が起こらなかったとしても、新たに症状が出ることもあります。

#### ① 軽 症：吐気、嘔吐、発疹、熱感など

発生頻度は 500～1000 人に 1 人。通常治療を必要とせず、検査当日でほぼ治まります。

#### ② 重 症：呼吸困難、意識障害、血圧低下、咽・喉頭浮腫など

発生頻度は 1 万～2 万人に 1 人。注射や点滴、重症の場合には治療が必要となります。

#### ③ 死 亡：非常に稀ですが、100 万～200 万人に 1 人の割合で起こる可能性があります。

#### ④ 遅発性副作用：発熱、発疹、悪心、血圧低下、呼吸困難など

造影剤の副作用は使用した直後がほとんどですが、稀に 1 時間～数日後に遅れて発生することがあります。ほとんどの場合は治療を必要としませんが、症状がひどい場合は病院へご連絡ください。

### 3. 造影剤副作用の予測と緊急処置について

造影剤で副作用を起こすかどうか調べる方法は現在のところありません。当院では副作用に対応できる体制を整えて検査しており、緊急時には最善の処置を施行します。

### 4. その他

稀に造影剤が血管外に漏れ、痛みを伴う事があります。漏れた造影剤はじきに吸収されますが、腫れが強い場合には処置が必要となる場合があります。

※以下の既往がある方は造影剤の副作用が生じる可能性が高くなり注意が必要です

下記に該当する方は医師に相談の上、検査を受けてください。

- 今までにガドリニウム造影剤を使用し、副作用を起こしたことがある方
- 気管支喘息、薬剤過敏症、蕁麻疹などのアレルギー性疾患のある方
- 腎機能障害のある方、人工透析をされている方